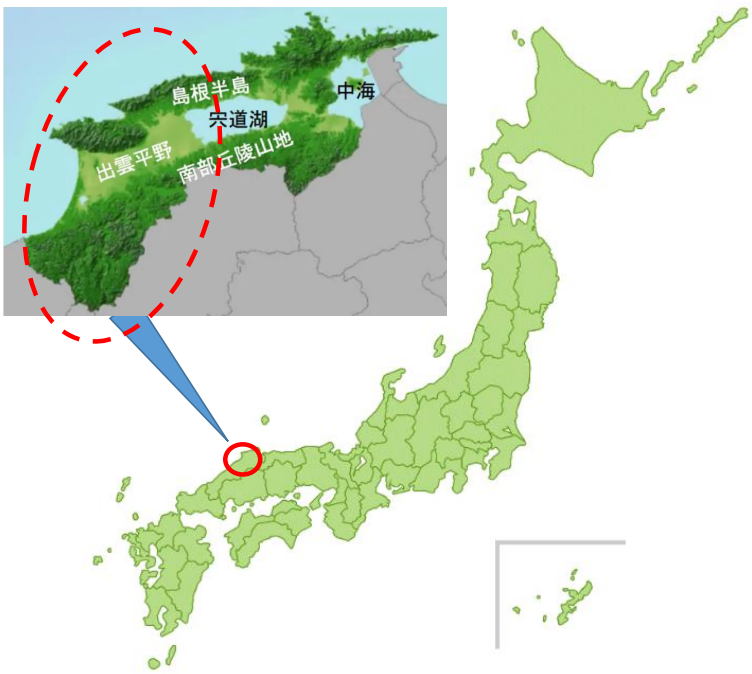
資料１

第3回トキと共生する里地ネットワーク協議会

出雲市トキによるまちづくり

令和6年8月6日
出雲市政策企画課プロジェクト推進室

出雲市の概要



位置及び地勢

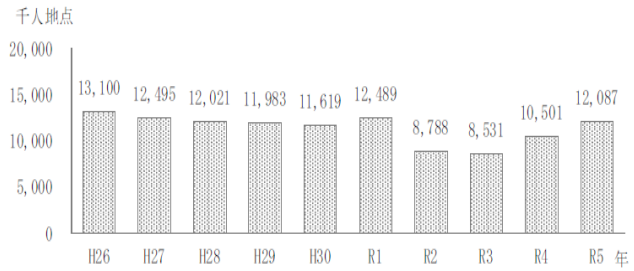
島根県の東部に位置し、北部は島根半島、中央部は出雲平野、南部は中国山地で構成されています。
出雲平野には、斐伊川と神戸川の二大河川が流れています。
宍道湖・中海は、2005年にラムサール条約湿地に登録され、２つを合わせると日本最大の汽水域となり、毎年40,000羽以上のガン、カモ、ハクチョウ類がやって来ます。

面積　６２４．３２㎢
（佐渡市の面積の約3/4）
（石川県９市町の面積の約1/3）

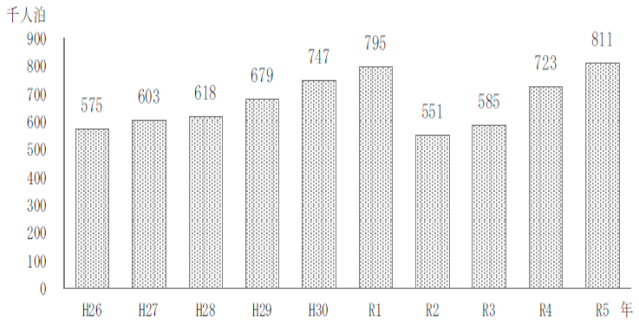
人口　１７２，５３７人
（2024年6月末現在）

出雲市の概要（観光・商業）

〈観光入込客延べ数の推移〉



〈宿泊客延べ数の推移〉



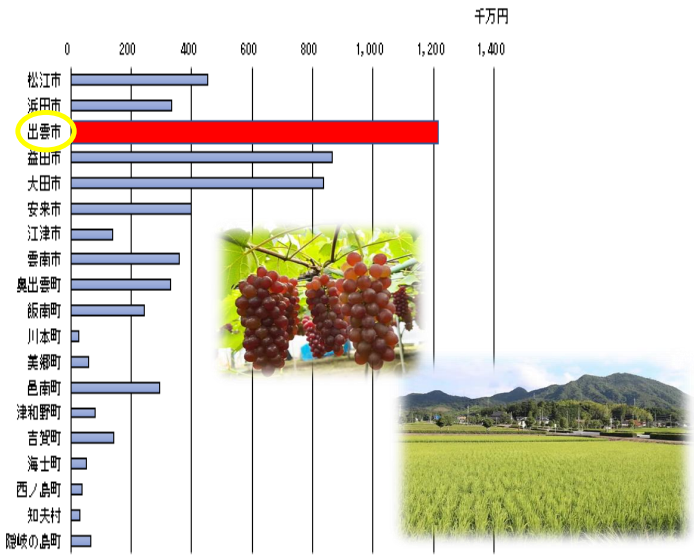
新型コロナの5類移行後は、観光入込客数も順調に回復しており、令和5年の宿泊者数は過去最高を記録しました。

商店数は減少傾向にあるものの、年間商品販売額や従業員数は増加しています。

項目	R３
商店数	1,792店
従業者数	12,681人
年間商品販売額	3,248億円

出雲市の概要（農業・工業）

米や野菜、果実の生産量は県内１位。農業産出額は121.5億円。島根県内の20.4％を占めています。



製造品出荷額等は、約5,500億円。島根県内の製造品出荷額の47.1％を占めています。

出雲市トキによるまちづくり構想 アクションプラン2025

放鳥目標年度

令和９年度(2027)放鳥を目指す

計画期間

令和５年度～令和　７年度　短期実施計画
令和８年度～令和１２年度　中長期構想

令和７年度（2025）までに重点的に取り組む事項（アクションプラン2025）

普及啓発・機運醸成

01 普及啓発の強化・価値観の共有化

市のイメージカラー「トキ色」の活用・ライトアップ
シンポジウム・説明会の開催
トキファンクラブの設置
クラウドファンディングの実施
様々な媒体を活用した情報発信
（SNS・デジタルプロモーション・ケーブルテレビ等）

02 若年層に向けた情報発信

オリジナル絵本の作成
子ども向けトキ学習講座
小中学校における巡回企画展の実施

03 農業者・関係者の理解醸成

農業関係者との座談会・説明会の実施
放鳥適地における説明会の実施

生息環境の整備

01 環境にやさしい農業の推進

環境にやさしい農業の普及に向けた調査・研究
米の高付加価値化（認証米制度の導入）
トキの餌場確保につながる水田管理体系の普及
餌場環境の整備（ビオトープなど）

02 放鳥に係る体制づくり

広域連携体制の構築
放鳥場所の検討・選定
放鳥方法の検討など

地域活性化

01 トキを出雲市の新たなブランドへ

トキ関連商品の開発
観光プログラムの検討・試行
企業によるトキ応援活動の募集

令和5年度に実施した主な取組

【普及啓発・機運醸成】

01 市のイメージカラーにトキ色を指定

令和５年度活用事例　約80件

【主な活用状況】

・新たに建設した公共施設のアクセントカラーに使用
・新設及びリニューアルしたホームページのメインカラーに使用
・各種資料、チラシ、印刷物、名刺台紙等に使用

市の公共施設やHP、印刷物ポップ等に活用

02 シンポジウムの開催

■日時　令和６年２月２５日
■会場　朱鷺会館大ホール
■第１部　講演会
　演題　トキが最後の５羽から大空を舞う日まで
　講師　尾崎清明氏（公財）山階鳥類研究所副所長
■第２部　座談会「トキが羽ばたく未来へ」
　参加者　尾崎氏・星野氏（三瓶自然館サヒメル）
　　金山氏（島根富士通）・飯塚市長
■来場者数　１２０人
■その他　全編ケーブルテレビで放送（６回）

令和5年度に実施した主な取組

【普及啓発・機運醸成】

03 機運醸成に向けた普及啓発活動

【親子生きもの調査】
・稗原エリア（野尻）の田んぼで実施

【ブース出展】
・いずも産業未来博
・科学の縁結び祭

【企画展示】
・出雲中央図書館
・出雲弥生の森博物館

【メディア】
・ケーブルテレビ
・広告掲載

【その他】
・HPリニューアル
・Vリーグ公式戦エンドバナー広告
・アイデアソンの課題テーマに選定
・水鳥観察会
・PR看板設置
・PRポスター、ノベルティ作成
・広報いずも掲載

ほか

令和5年度に実施した主な取組

【普及啓発・機運醸成】

04 農業者へのヒアリング調査・無作為抽出アンケート調査

■農業者へのヒアリング調査

【対象者】　１０団体（１エリア２団体）
【調査内容】・トキの野生復帰に係る期待、不安
　　・環境にやさしい農業の取組状況
【調査結果】
・トキの野生復帰については、ほぼ全ての団体が肯定的（否定的意見なし）
・減農薬、減化学肥料等の環境にやさしい農業は対象団体の８０％が実施
・期待する意見
「観光資源としての集客効果」
「農産物のブランド化」
・懸念する意見
「農薬等の制限による減収」
「作業負担の増」

■無作為抽出によるアンケート調査

【対象者】　無作為抽出１,０００人＋インターネット
【設問内容】・トキ関連事業に対する理解度
　　・環境にやさしい農業に係る意識　など
【回答者数】４２４人
【調査結果】
・トキをシンボルとした環境にやさしいまちづくりの認知度
「知っている」　７０.３％
「知らない」　２９.０％
・トキの野生復帰に向けた取組の賛同者
「賛成・どちらかと言えば賛成」　７３.６％
「どちらでもない」　２１.７％
「反対・どちらかと言えば反対」　２.６％

令和5年度に実施した主な取組

【生息環境の整備】

05 アドバイザー設置・協議会の充実

■出雲市トキ野生復帰アドバイザー
①（公財）日本生態系協会　専務理事　関　健志
②（公財）日本鳥類保護連盟　代表理事　小宮輝之
③（公財）山階鳥類研究所　客員研究員　蘇　雲山
④新潟大学農学部農学科　教授　関島恒夫

■出雲市トキによるまちづくり推進協議会
①国土交通省出雲河川事務所　所長　小谷哲也
②島根大学　非常勤講師　佐藤仁志
③島根県立三瓶自然館学芸課　課長代理　星野由美子
④放鳥適地の自治協会長　等

06 生き物調査・ビオトープの設置

■生き物調査
・放鳥適地に選定している稗原町（野尻地区）において、生き物調査を実施。
・地元説明会を開催し、土水路の掘り起こしを依頼。令和６年度に同じ場所で生き物の量の変化を検証する予定。

■ビオトープの設置
・稗原エリア
　野尻町　２か所　3.3a
・神西・神門エリア
　神西町　１か所　1.2a

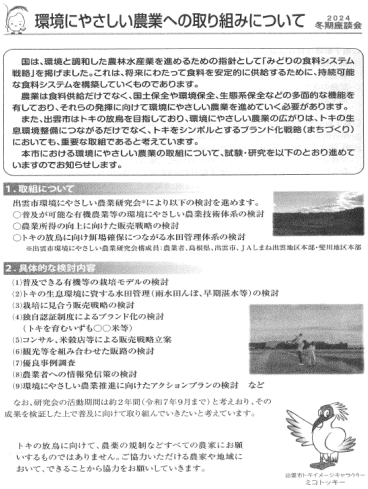
令和5年度に実施した主な取組

【生息環境の整備】

07 環境にやさしい農業研究会を設置

■普及できる有機等の栽培モデルの検討
　○有機ＪＡＳ基準による水稲の実証試験
　○先進事例調査
■トキの生息環境に資する水田管理の検討
　令和６年産米から実証試験を実施
　○雨水田んぼ（１１月～３月）
　○早期湛水（４月～５月）
　○江の設置
　⇒生産性や作業性への影響を検証
　⇒生態系への影響を検証

■栽培に見合う販売戦略の検討
　○市独自認証制度等によるブランド化の検討
■農業者への理解醸成
　○営農座談会での周知



環境にやさしい農業への取り組みについて　2024 冬期座談会

国は、環境と調和した農林水産業を進めるための指針として「みどりの食料システム戦略」を掲げました。これは、将来にわたって食料を安定的に供給するために、持続可能な食料システムを構築していくものであります。
農業は食料供給だけでなく、国土保全や環境保全、生態系保全などの多面的な機能を有しており、それらの発揮に向けて環境にやさしい農業を進めていく必要があります。
また、出雲市はトキの放鳥を目指しており、環境にやさしい農業の広がりは、トキの生息環境整備につながるだけでなく、トキをシンボルとするブランド化戦略（まちづくり）においても、重要な取組であると考えています。
本市における環境にやさしい農業の取組について、試験・研究を以下のとおり進めていますのでお知らせします。

1. 取組について
出雲市環境にやさしい農業研究会※により以下の検討を進めます。
○普及が可能な有機農業等の環境にやさしい農業技術体系の検討
○農業所得の向上に向けた販売戦略の検討
○トキの放鳥に向け餌場確保につながる水田管理体系の検討
※出雲市環境にやさしい農業研究会構成員：農業者、島根県、出雲市、ＪＡしまね出雲地区本部・斐川地区本部

2. 具体的な検討内容
(1)普及できる有機等の栽培モデルの検討
(2)トキの生息環境に資する水田管理（雨水田んぼ、早期湛水等）の検討
(3)栽培に見合う販売戦略の検討
(4)独自認証制度によるブランド化の検討
（トキを育むいずも○○米等）
(5)コンサル、米穀店等による販売戦略立案
(6)観光等を組み合わせた販路の検討
(7)優良事例調査
(8)農業者への情報発信策の検討
(9)環境にやさしい農業推進に向けたアクションプランの検討　など

なお、研究会の活動期間は約２年間（令和7年9月まで）と考えており、その成果を検証した上で普及に向けて取り組んでいきたいと考えています。

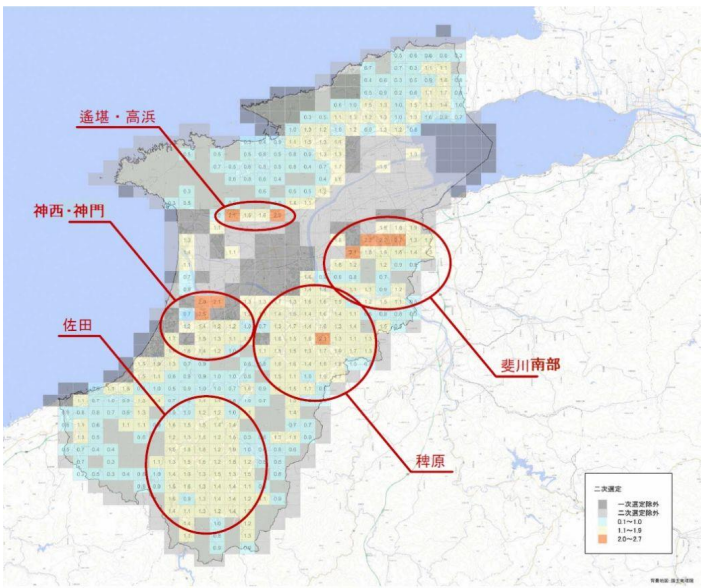
トキの放鳥に向けて、農薬の規制などすべての農家にお願いするものではありません。ご協力いただける農家や地域において、できることから協力をお願いしていきます。

出雲ホトキイメージキャラクター　エコトッキー

令和5年度に実施した主な取組

【生息環境の整備】

08 生息適地候補調査の実施



令和４年度に環境基礎資料を基に、トキの生息に好適な採餌環境、営巣環境等の潜在性の高い５エリアを選定。

令和５年度は、その５エリアの現地調査を実施。

【調査内容】
①森林の実態調査（大径木の有無、餌場との距離、森林の荒廃状況等の目視確認）
②餌場の観察調査（水路形態（土水路・コンクリート水路等の構造、取排水様式等））

採餌環境の調査結果、有識者の意見、地元住民の協力体制等を踏まえて、神西・神門、稗原、佐田の３エリアの中から餌資源量調査を実施予定。

令和5年度に実施した主な取組

【地域活性化】

09 ステークホルダー(賛同者)の拡大

■株式会社出雲村田製作所・島根島津株式会社・株式会社島根富士通　３社共同地方創生ＳＤＧｓ取組
・従業員及び家族向け普及啓発活動
※Ｒ６は地元営農組合と連携し、餌場環境整備（江の設置）を予定

■ワルツ商事有限社
・新車のごみ収集車にトキの写真及びトキ色をラッピング

10 ふるさと納税型クラファンの実施

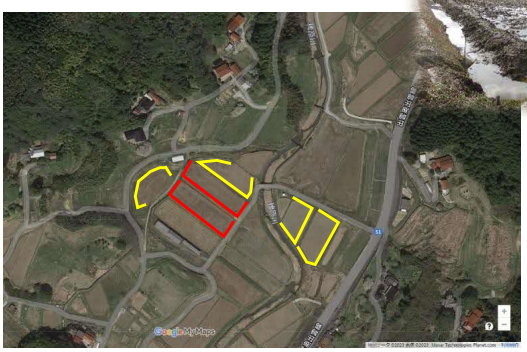
■目標金額　３，０００，０００円
■実施期間　令和6年12月31日まで
■寄付金の使い道
・トキの絵本作成
・展示物、シンポジウム、生息環境整備
■寄附金額　３，０００円以上
■返礼品　　トキのオリジナル絵本
■掲載紙　　日経新聞、新潟日報、神戸新聞、東奥新聞、中国新聞、日本海新聞　ほか

協力・連携団体による環境整備

(公財)日本生態系協会がサントリー世界愛鳥基金を活用して実施

01 野尻の郷　田内土水路(江)の設置

■設置者　農事組合法人野尻の郷
NPO法人　いずも朱鷺２１
■事業内容
採食場所となりうる常時湛水域を確保するため、田内土水路（江）を設置
赤　線：R4　240m
黄色線：R5　440m



02 岩倉地区　田んぼビオトープ

■設置者　みどり営農組合
NPO法人　いずも朱鷺２１
■事業内容
休耕田をビオトープとして整備
赤　線：R4　6a
黄色線：R5　25a

令和６年度の主な事業

普及啓発・機運醸成

01 普及啓発の強化・価値観の共有化

市のイメージカラー「トキ色」のライトアップ
シンポジウムの開催
トキファンクラブの設置
クラウドファンディングの実施
様々な媒体を活用した情報発信
（SNS・デジタルプロモーション・ケーブルテレビ等）
トキ公開施設及び学習コーナーの展示物の更新
愛宕山公園へのトキ近似種公開施設の設置
バックヤード体験ツアーの実施

02 若年層に向けた情報発信

オリジナル絵本の作成（３歳健診時に配付）
子ども向けトキ学習講座
啓発パネルの作成及び小学校での展示

03 農業者・関係者の理解醸成

農業関係者との座談会・説明会の実施

生息環境の整備

01 環境にやさしい農業の推進

環境にやさしい農業の普及に向けた調査・研究
トキの餌場確保につながる水田管理の実証
餌場環境の整備（ビオトープなど）

02 放鳥に係る体制づくり

各種協議会との連携強化
トキと共生する里地ネットワーク協議会の出雲市開催
餌資源量調査の実施
広域連携体制（モニタリング等）の構築に向けた協議
放鳥場所の検討

地域活性化

01 トキを出雲市の新たなブランドへ

トキ関連商品の開発に向けたヒアリング
観光プログラムの検討
企業によるトキ応援活動の募集